

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

成熟国家から逃げずに競争力を磨く 辻本 憲三 (カプコン会長兼CEO)

1. 新しいことにどんどん挑戦させて、「うまくいかないこと」を見つけ、対策を練るのが経営者の役目。うまくいっている事業は放っておけばいい。問題を抱えたり、計画通りにいかなかったりする事業をうまくいくように変えていくのが経営者の仕事でしょう。トップは現場に足繁く通うのではなく、判断するために存在しているのです。
2. 今、成熟国家で何が起きているか皆さんご存じでしょう。モノの価格がどんどん下がってきています。昔は良いモノは高く、悪いモノは安かった。今は、良いモノがどんどん安くなり、悪いモノは全く売れなくなっています。だから消費そのものが減っていかなくても、GDPは下がり続ける。こうした中でいかに利益を上げていくのか。それがこれからのビジネスです。
3. 最近、中国だ、インドだと言う経営者が増えています。労働力が安価だ、モノを作るコストが安いという理由で海外に出ていく経営者は 20 年先を見ていない。今、決して成熟国家から逃げたらいけないと思います。勢いを持って急成長している新興国が成熟するのはあつという間です。日本企業は成熟国家で来るべき時代に向けて知恵を絞り出し、競争力を磨かなければならない。それが目先ではなく、中長期的に競争力を保持していく必須条件だと思います。
(参考:「日経ビジネス」2012 年 4 月 16 日号)

経営者のための理念・哲学

リーダーシップを発揮する 6 つの能力

1. リーダーシップを発揮するためには、6 つの能力が重要だと考えます。一つは「善い」目的を創る能力です。そのためには何が good かという深い哲学的洞察も必要になります。二番目は場づくりが上手なこと。人と人、人と物、人と環境との関係性が生まれる場をつくることです。三番目はありのままの現実を直視する能力。分析するのではなく現実を直視です。
2. 四番目はその直観の本質をきちんと概念化する能力。五番目はその概念を実現する政治力。そして最後の六番目は、一から五を組織で共有する能力です。

(参考:「致知」:2012 年 8 月号)

街の活性化策

スカイツリー効果でモノづくり復権狙う

1. 地元への経済波及効果は 980 億円。東京スカイツリーのおひざ元、東京都墨田区は、スカイツリーによる経済効果をこう試算した。ツリー効果を地元産業の中心である中小製造業の活性化につなげることを狙っている。明治以降に繊維、金属、印刷加工などの軽工業が発達した墨田区には、今も多くの町工場がひしめく。中小製造業は今も墨田区の主要産業だ。
2. しかし、国内製造業の空洞化や後継者不足に悩まされ、1970 年に約 9700 あった工場数は、今や 3 分の 1 にまで減少。逆境は続いている。大田区には精密機械などの下請け企業が多いのに対して、墨田区には生活関連の町工場が多い。「観光客がツリー内で完結せず。区内のモノづくりの現場に足を運んでくれれば」とか「中小製造業を巡る町歩き観光を盛り上げたい」などと地元は意気込む。

(参考:「週刊東洋経済」2012 年 5 月 26 日号)

古典に学ぶ

心の余裕は「仁」から生まれる

「人の安宅あんたくは仁の一事に帰着する。一切の私心をはさまずして事に当たり、人に接するならば、心中常に綽々たる余裕を保ってられる」。

(訳) 人として心安く生きるには、思いやりを持つことだ。自己の利益は忘れて物事を処理し、人に応対すれば、自分の心もいつも安らかに余裕を持ってられるものだ。

(参考: 渋澤健「渋澤栄一 100 の訓言」: 日経ビジネス人文庫)